



八幡小だより

北九州市立八幡小学校
校長 田頭 麗宏



ゲストティーチャーに感謝



本年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、学校の教育活動にさまざまな影響が出ています。その一つが、社会見学などの校外学習です。子どもたちの安全を確保することはもとより、工場など受け入れ側の事情もあって、実施が困難になってしまいました。本校では、学習進度や時期を考慮し、近隣の公園や施設の「たんけん」などは少しずつ実施していますが、3～5学年で計画していた社会見学を中止するようにしました。

当然のことながら、「実物」にふれる体験的学習は、教育的効果が大きいです。そこで、可能な限り実施しているのが外部講師（ゲストティーチャー）による出前授業です。今年も状況を見ながら、各学年でゲストティーチャーによる体験的学習を取り入れています。例えば、3年生は「消防士さんといっしょ」という活動を行い、八幡東消防署員の方からお話を聞いたり、消火体験などをしたりしました。4年生は北九州市環境局の方をお招きし、パッカー車を見学しながらごみ処理の実際の様子を教えてくださいました。

こうした状況において、本当にありがたい存在だと感謝しています。



登下校に注意を

学校そばの高炉台公園周辺の工事については、これまでもお知らせしてきていますが、まだ継続しています。また、枝光南市民センター近くの法面工事も始まりました。

中央中とグラウンドの間の道路は、照明施設からの落下物の恐れがあり、まだ工事が始まりませんが通行止めになっています。通学路を変更している子どもをはじめ、工事現場近くを登下校する子どもたちは、十分に注意をしてほしいと思います。



自然教室

有意義な2日間でした



15日（火）～16日（水）、玄海青年の家での「自然教室」に、5年生が行ってまいりました。

頓田貯水池やその周辺での野外活動を中心とした一泊二日の集団宿泊生活は、53人の子どもたちにとってたいへん有意義なものになりました。普段とは違う生活の中で、普段とは違う力を身に付け発揮する機会となったからです。

玄海青年の家では、新型コロナウイルス感染症対策として、いたる所に手指消毒用アルコールが置いてあり、他の団体と接触しないよう使用施設を分けるなど、きめ細かい配慮がなされていました。

2日間を通して、思い切り楽しむ姿、協力してがんばる姿、反省が必要な姿が見られました。半年後の「八幡小のリーダー」のみなさん、期待しています!!

